

## 主任班グループ別研修

### 研修テーマ 『園運営の要としての主任の役割～役割を果たすための力量を身に付ける～』

主任班は、それぞれの立場や園の実状に合わせた研究の視点を窓口として取り組んでいけるよう、主任班1(フリー主任、預かり担当)、主任班2(担任有主任)の2グループに分かれ、研修を行った。

各グループ、視点に沿った自己課題や保育実践方法などを話し合い、協議を深めた。また、助言者の園長先生にも御助言をいただき、主任としての役割について学ぶことができた。

#### < グループ協議 主任班1グループ >

##### ① 教育課程の編成(Aグループ)

- ・ 行事のおさえ方について話し合い、コロナ禍でも行事と保育のつながりを大切にしていきたいと感じた。
- ・ 次回は、指導計画、教育課程の見直しの仕方について協議していく。

##### ② 発達支援コーディネーターとしての主任の役割(B・Cグループ)

- ・ 発達支援の部屋の様子を情報交換し、コーディネーターとしての役割について話し合った。
- ・ 保護者との関係づくりや担任の思いを尊重することなど、多方面での連携の大切さを感じた。

##### ③ 防災や安全指導による危機管理(Dグループ)

- ・ 防災に対し、疑問に思った時に相談できる機関等を知っていると安心である。
- ・ 各園の避難訓練の仕方について意見を出し合った。次回は指導案を持ち寄り、より良い訓練方法を探っていく。

##### ④ 「はままつ教育」「特色化推進」における教育活動の工夫(E・Fグループ)

- ・ フリー主任としての立場の中、環境の出し方や援助の仕方など、どのように職員に伝えていくか話し合った。任せすぎず、一緒に考えたりつくったりする姿勢も大切であると感じた。
- ・ 「はままつ教育」における教育活動の工夫を伝え合った。

##### ⑤ 家庭への発信の仕方や保護者対応(Gグループ)

- ・ PTA活動について、保護者と園との温度差があり、保護者の気持ちや願いも受け入れながら、園の考えも伝えていきたい。
- ・ 保護者対応では、即断せず園長や主任に相談する。報連相を大切にしていきたい。



#### 主任班1 ～助言者御指導(抜粋)～

- ・ 前回、心掛けて欲しいと話した「見(けん)」「繋(けい)」「温(おん)」がとても大切である。

見(けん)…見つめる。見て学び取る。

自分自身を見つめて常に振り返ることが次へと繋がる。

繋(けい)…主任として、園長先生と他の職員を繋ぐ大切な役割がある。担任と保護者の間も繋いでいき、信頼関係で繋がるような関係をつくっていく。

温(おん)…思いやりの心。「見つめる」「繋がる」の土台は、温かな人間関係である。

常に温かい職員室、温かい人間関係、温かい幼稚園であることを心掛けていく。

- ・ 分からないことは「自分で調べる」「聞く」「聞いたことをしっかり記録しておく」ことが大切である。
- ・ 忙しい毎日の中、起こりうる「危機」を想定し、起きた時に園児、保護者、来客等の対応がスムーズにできるようにと考えながら過ごしていくとよい。



## < グループ協議 主任班2グループ >

### ① 少人数に特化した教育課程の編成(H・I・Jグループ)

- ・ 事例とカリキュラムを分けて綴じてあると分かりやすい。
- ・ 事例は人数によってばらつきがあるため、今年度も少人数園に事例を出してもらおうとよい。
- 少人数カリキュラム作成について
  - ・ 配慮点に3年間のおさえや学年のおさえが分かりやすく記載されているとよい。
  - ・ 複式学級の悩みを解決するようなねらいや援助が写真付きで記載されるとよい。
  - ・ 時系列で分かりやすく図にしたらどうか。



### ② 「幼児期に育てたい力」の活用と「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」(10の姿)から資質・能力を捉えた評価(K・Lグループ)

- ・ 保護者への啓発の仕方が難しい。(外国籍、母親の理解度。分かりやすく話す方法。)
- ・ 次回、「育てほしい姿」について園内での共通理解の仕方や取り組み方について協議する。

### ③ 発達支援教育の理解と保育の充実(M・Nグループ)

- ・ 支援を必要とする子(外国籍を含む)が増えているため、職員間での共通理解、キッズサポーターとの連携が大切になってくる。
- ・ 支援を必要とする子を含むクラス運営は、どの子も居心地の良い環境をつくるのが大切であり課題でもある。
- ・ 保護者理解や関係機関との繋がりは今後の課題であるため、情報交換をしていきたい。
- ・ 次回、自園の取り組みや工夫、実際に使った物等の情報、具体例を持ち寄り協議する。

### ④ 保育推進のリーダーとしての発信力や助言力の育成と学びにつながる園内研修の推進(Oグループ)

- ・ 園内研を計画通りに実施できていない。(時間、職員減による)1年間の研修のまとめができていない。
- ・ 研修で協議したことを模造紙にまとめ職員室に掲示する。(見える化・共有化)
- ・ 研修の時間を決める。内容や年間のゴールを設定する。決められた時間の中で具体的に協議していく。
- ・ 次回、1学期の取り組みと2学期以降の計画について協議する。

## 主任班2 ～助言者御指導(抜粋)～

3つのテーマについて

一つ目のテーマは複式学級、少人数学級の欠点について

複式学級には利点もあるが課題も多い。

実際の現場でも4歳児、5歳児を同じクラスで教育する時があるが、その際はそれぞれの年齢に合ったおさえをして教育を行う必要がある。

二つ目のテーマは薩摩の教えについて

薩摩の教えの評価される5段階の順序とは

- 一. 何かに挑戦し、成功した者
- 二. 何かに挑戦し、失敗した者
- 三. 自ら挑戦しなかったが、挑戦した人の手助けをした者
- 四. 何もしなかった者
- 五. 何もせず批判だけしている者

これを見て自分自身はどうなのか？また自分の同僚はどういうタイプなのか？と考えてみてほしい。  
現在コロナ禍であり、この状況をチャンスと捉えて様々なことに挑戦してほしい。



三つ目のテーマはベテランの先生になったときについて

自分自身がベテランになったときに後輩職員にどれだけ助言やアドバイス、または技能伝承ができるのかということが重要になってくる。そのためにも、いろいろなことに挑戦し、自分自身が成長していくことが大切である。後輩に力をつけてもらえるようなベテラン教諭になってほしい。